

# 池田小学校 5 年生 『農家・元古さんから農業の現状と工夫について聞こう』

## 授業実施例

実施校: 池田小学校 5 年 1 組～4 組(4 クラス)

授業実施日: 2022 年 6 月 20 日(月曜日) 3～4 限(10:45～11:30、11:40～12:25)

単元: 総合の学習の時間 「気になる食のことを調べよう」

目標: 規格外の野菜や農産物のロスの現状や活用方法、どのような工夫をしながら生産しているかを知る。

講師: 元古 誠氏(能勢町) 実施方法: 5 年 1 組教室で講演、他 3 クラスへオンライン(Zoom)同時配信

時間	流れ	内容
10:45	あいさつ	自己紹介
10:50	お米づくりについて 農薬について	<ul style="list-style-type: none"><li>お米の作り方や出来るまで(稲→もみがら→すりぬか→玄米→米ぬか→白米、漢字の通り 88 回手を入れるなど)</li><li>カメムシなどの害虫がつくとお米が黒く変色し、等級が下がり買取価格が下がる＝収入が下がる。</li><li>害虫対策として農薬をまくが、人にも影響があるのではと思い自分の田んぼには一切使わない。その代わり黒いお米が混ざっていることを消費者に説明している。(人体への害は無し)</li><li>自分が食べるものはどんなものがいいか?</li></ul>
11:00	食害について	<ul style="list-style-type: none"><li>野菜や栗などをシカ・イノシシ・アライグマが多い時で畑の半分ほど食べられる場合がある。がっかりする。</li><li>山全体に網をはる対策をしているが、少しの破れや壊れたところから侵入されるため、毎日山を歩き回り点検している。</li><li>動物たちはなぜ人の畑に降りてくるのか。(山に食べ物が無い、人の作ったものはおいしい)</li><li>どんぐりを食べられるようクヌギの木を増やすプロジェクトを街の子ども達と一緒にやっている。(2021 年度 石橋南小学校 4 年生で実施)</li></ul>
11:10	ロスについて	<ul style="list-style-type: none"><li>形の悪いもの、台風などの被害で傷ついたものは加工または肥料にしており、能勢でロスはほぼ無い。ただし広大な畑をもつ農家はロスが多い。</li></ul> 自分が買う時にどんなものを選ぶか?
11:20	質問タイム	<ul style="list-style-type: none"><li>各クラスからオンラインにて</li></ul>
11:30	休み時間	
11:40	ロスを活用した肥料づくりについて	<ul style="list-style-type: none"><li>地域で出た間伐材とすりぬか・米ぬかを発酵させて肥料(腐葉土)を作っている。</li><li>豊中市では地域団体が学校給食で出た残飯から肥料を作っている。</li></ul> 全て捨てられるものをゴミにせず、活用している。
11:50	災害について	<ul style="list-style-type: none"><li>今、能勢でも手入れされず山が育っていないため、細い木が増え暗くなり土が弱り、土砂が流れてしまう。その土砂は上流の能勢から下流の池田や街中へも流れていく。</li><li>能勢で起きていることは池田に住んでいる人たちにも影響を及ぼす。</li></ul>
12:00	質問タイム ふりかえり	各クラスから 1 組に集まる <ul style="list-style-type: none"><li>タブレットにふりかえりを記入</li></ul>
12:25	終了	

【授業のようす】

